

深谷地区復興拠点エリアに 多目的交流広場が 誕生します…

「深谷地区多目的交流広場」の建設が始まりました。

深谷地区復興拠点エリアの「いいたて村の道までい館」に隣接する約1万2,000㎡のエリアに、花の散策路や、芝生の広場、子ども達のわくわくする遊び場などがつくられます。どんな交流広場になるのか、ちょっとのぞいてみてください。オープンがきっと待ち遠しくなりますよ。

オープン は 来年の夏の予定 です。どんな交流広場が完成するのか今から楽しみです。交流広場全体のイメージは次のページで…！

事業の担い手にも聞きました…
どんな交流広場ができるのでしょうか？

復興計画の中で、当初から整備が予定されていた交流広場ですが、飯館村らしい、楽しさにあふれた施設になるよう、設計やデザインを検討してきました。受け継がれてきた村のよさや、深谷地区の雰囲気にもじっくり合うよう、交流広場は、景観になじむ緑豊かなデザインになりました。

自然を生かした空間に、不思議の国から運ばれて来たような遊具や施設を配置して、わくわく楽しい場所なのに、どこか懐かしい、心にピタッと寄り添うような、そんな特別な場所になったらと思っています。遊び場には、子ども達の好奇心や、遊びたい気持ちをかきたてるようなしかけがたくさんあります。また、季節の花が咲く散策路、広々とした芝生の広場なども設け、大人も四季折々に幾度でも訪れたくなるような場所になるよう、思いをこめてつくっていきま

次のページへGO！

〈子どもの家〉

〈ツリーハウス〉

飯館村らしい
わくわくがいっぱい
交流広場に！

高野琢子（総務課企画係）

今月の
1枚

「いいたて村の道の駅」の新メニュー「なつはぜソフト」(350円)。ミルクの風味がさわやかなバニラソフトに、なつはぜのジャムをトッピングしました。健康志向の手作りジャム「里山の黒真珠・なつはぜじゃむ」(ニコニコ菅野農園)も、道の駅の特産品コーナーで購入できます。



また食べたくなる美味しさを、この他、大胆にもハードなトッピングをした「なつはぜソフト」も好評発売中。

いいたて村の道までい館

深谷字深谷前12の1

☎0244-42-1080

午前10時～午後6時

※11月～2月は午後5時まで

定休日・毎週水曜日

※公衆トイレ・併設のコンビニは無休



CONTENTS 目次

- 3 特集 交流広場が誕生します
- 6 飯館百景 緑を取り戻す農地
- 8 報告のページ 6月議会定例会
- 10 教育委員会NEWS! 義務教育学校とは ほか
- 12 教育のページ 村民向け予算書贈呈式 ほか
- 13 生涯学習のページ テニス教室 ほか
- 14 ほけんとふくし 虫歯0の子表彰式
- 15 おしらせのページ 東京オリンピック聖火リレー
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 そのころはっ ほか
- 20 おしらせのページ 6月のできごと ほか
- 21 入札結果
- 22 きてみて / ラオス通信。
- 23 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

5月に村に移住したNAcCO(なっこ)さんは地域おこし協力隊としてInstagram(ID:lv_c_iitate)で村の魅力を発信しています。この日は赤石澤キサさん(大久保・外内)と出会って地区のお話を聞かせてもらいました。



●表紙のおはなし●